

ひらおか

平岡地区町内会連合会
 清田区平岡7条3丁目9-25
 平岡地区会館内
 ☎ 883-7100
 発行責任者 大橋 良一
 編集責任者 渡辺綱太郎

親子のふれあい交流

子育ての苦楽を

みんなで共感…

平岡・子育て支援の活動にみる

『子育て』が軽視されてきていたわけではありませんが、核家族や少子の傾向がすすむ今、改めて地域ぐるみの『子育て』への施策が必要とされてきました。札幌市も、平成九年度から新しい事業として*子育て仲間づくり*情報提供などに具体的な取り組みを展開してきました。

平岡でも、清田子育て支援センターの中枢「とんとんの部屋」(清田区役所三階)からの出前活動「子育てサロン」の集いが、原則として毎週火曜日平岡児童会館で開催されています。毎回たくさんの親子の交流があつて人気を博しています。

今回は、こうした『子育て』活動が地域の明日を支えていく新鮮なエネルギーとして膨らむことを期待してみました。

地域のふれあい活動

子どもと向き合い 苦楽を共感
 平岡・「子育てサロン」に見る



平岡地区町内会連合会

会長 大橋 良一

最近の子ども達は「あまり遊ばない」と、よくいわれます。親や世間は、子どもが少数化するのとは逆に期待のみが大きく膨らみ、子どもの生活を一方向へ追いやっていく気がしてならないのです。

今子ども達は、学校生活は勿論地域へ帰ってからもいろいろな習いごとや塾などに時間がとられ、「遊ば



ない」のではなく「遊べない」のではないか、そんな気がするのです。こうした状況の続く中でいつしか子どもの遊びは、社会に対し消極的であり非生産的なものとみられ、仲間と心のふれあう中で育つ諸能力の大切さが軽視されるとなれば、社会にとって大きな損失をつくることになりそうです。

人間は、やはり人間とのふれあいの中で生じる「喜



いつの間にか楽しい仲間になって

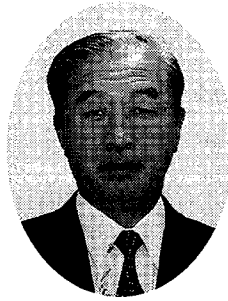
び」「楽しみ」「苦しさ」「悲しさ」を共感しながら育ち合うことの重要さを、私たち大人は改めて強く認識することの必要性を感じます。

子どもが豊かに育つ地域の条件として、この「子育て運動」がしっかり根づいて発展することを願ってやみません。

頑張ってください。



地域のみんなで 子育てを支援しましょう



清田区長 河村功一郎

少子化や核家族化などにより、子どもと家庭を取り巻く社会環境は大きく変化しています。

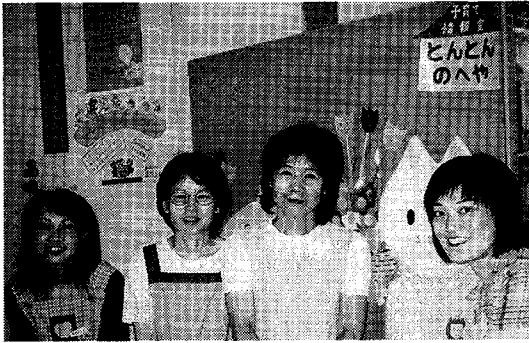
札幌市では、この変化に対応し、行政・企業・地域社会が一体となって、「地域子育て支援事業」を推進しています。

この事業の一つ目の柱である「子育て家庭への支援」では、子育て相談や情報誌発行などにより、情報提供を行うとともに、各児童会館で実施する子育てサロンでは、子育ての仲間づくりのお手伝いをしています。もう一つの柱である「地域で子育てを支える環境づくり」では、ボランティア

育成や子育て支援ネットワークづくりに向け、子育て支援検討会議や地域のふれあい交流などに取り組んでいます。

清田区は、人口に占める年少人口の割合が全市で一番高いという特徴を持っています。

昨年十月、子育て中のお母さんとお子さんを対象に「きよたふれあいフェスタ」を開催しました。



とんとん部屋のメンバー

平岡地区の皆さんにもお手伝いいただき、外国人も含めた多くの親子が地域の方々とふれあいながら楽しい時間を過ごしました。今年も十月五日に、「いきいき・きよた！健康フェア」の一環として開催を予定しております。

地区民生委員・児童委員協議会抄

子どもの明日に 豊かな未来を

平岡地区民生委員・児童委員協議会

会長 松尾 隆



今札幌市では、「子育て支援」を重点に、児童委員活動強化推進方策の具体的な展開をすすめています。

行動計画（アクションプラン）の作成・実施を、各区の民生委員・児童委員協議会（以下「民児協」）を実施の主体としての活動です。各区では、『地域の親子一〇〇人と知り合い、支え合おう』を合言葉に活動を始めております。

定しており、とても楽しみです。これからも、子育て情報室「とんとんの部屋」を拠点に、区役所は、一層の努力をしていきますので、地域で、みんなが、子育てを支援してまいります。

当平岡民児協も、すでに福祉の街活動の「ふれ愛梅の実広場」、高齢者の健康教室では「平岡すこやか倶楽部」、地域の「敬老会」行事など共催・協力の活動は地域への福祉活動としてその実績は高く評価されてきています。

しかしこの度、時世が必須とした「子育てアクションプラン」は、平岡民児協にとって改めて意識的に取り組む必要を感じる程の大きな課題でした。幸い札幌市では、「子育て支援センター」を各区に設け児童会館を会場に担当

JUSCO

ジャスコと90の専門店
イオン札幌平岡ショッピングセンター
無料大駐車場 4000台
札幌市清田区平岡3条5丁目276-1
TEL.011-889-5001



時には劇に夢中

者が配置され、取り組みは既に始まっています。そこで、平岡民児協内の数名のメンバーが：それは「どんな場面なのか、私たちにどんなことかできるだろう」そんなことを胸に見学に出かけたのです。

会場の「平岡児童会館」には、三十組以上の母親と幼児が部屋にも体育館にも程よい数で遊んでいます。メンバーはその日から

- *子どもと遊び
- *担当者といっしょに動き・歌い
- *お母さん方との会話も

出来ました。

こうして「子育て」支援の仲間入りをし、アクション

プランへのプロジェクト・チームが誕生し、名前を「キッズ・サロン」とし代表を平岡民児協の西川幸子委員にお願いしました。

その後、地域のピアノの先生も応援に参加：支援活動をする側もされる側にも嬉しい期待に胸が膨らんだと聞いています。

少子高齢化のすすむこの時代、子どもは大切な『宝』です。明るい平和な未来の創造を担う子ども達です。豊かな心をもつ、優れた人に育って欲しい。そのためにも、今私たち大人は、自然も・社会も・人の心をも含めた良い環境づくりに努力を惜しんではならないと思います。そしてそこに、多くの個人・団体等の協力の必要なことも…。

今、始まったばかりの熱年組の「子育て支援」活動：地域をあげて応援してあげたいと思います。



子育ての輪をひろげよう

子育て支援担当係 三浦尚子



「おはようございます」 「今日はずー暑いですがね」

こんな挨拶から子育てサロンが始まります。毎週火曜日の午前中、平岡児童会館において開かれています。子育てサロンには、近隣の親子がたくさん参加されています。

この春、はじめてサロンにやってきましたYちゃん、人や場になじめず大泣き。それでもお母さんはあきらめずに毎回のようになんて泣いてもお母さんはいつも優しくYちゃんを受け止めていました。親子の手あそびや体操を楽しむ姿がみられるようになり、今ではもう泣くこともなく、たくさん笑顔を見せてくれるようになりました。そんなYちゃんを見守るお母さんの笑顔を見ると、私達もとてもうれしくなります。

少子化が進み、気軽に親子同士でふれ合える場が少



とんとんの部屋大好き、ボランティア大好き！

平岡地区の子育て支援の輪が広がっていきますよう、微力ながらがんばりたいと思います。地域の皆様の益々のご理解とご支援をよろしくお願い致します。

平岡児童会館

「子育てサロン」

に通って

菊地友美



サロンはこんな笑顔がいっぱい

サロンには、いつもたくさんの方が来ています。最初は、なかなか人の輪にとけ込みづらい感じがありますが、何度か通ううちに友達もでき楽しくなりました。それは、「子育ての境遇」を共有している仲間ですから、とても「絆が強いんだなあ」と感じていま

す。
また、先生方もたくさん
いて「子育て」の悩みにも
応えてくださるし、子ども
達も楽しく遊んでくれる先
生方が大好きです。

ですから、まだ「子育て
サロン」に来たことのない
方々も、是非来てみて親子
で楽しい時間をつくってみ
ては如何でしょうか。

● 平岡地区児童・生徒の事故防止と対策 ●

高ハトロール隊の結成と活動の開始



会長代行 木下 日出男

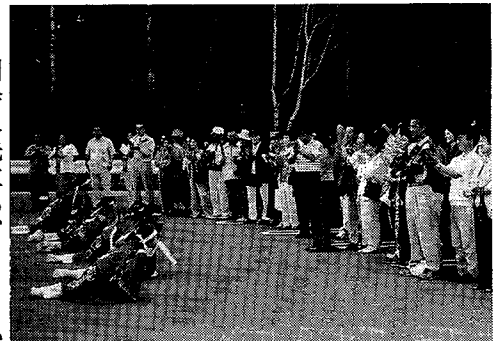
長引く経
済不況の中、
子どもの成
長を疎外するいろいろな悪
条件もありますが「青少年
を、心身ともに健全に育て
る」ことは、私たち大人に
課せられた大きな責務でも
ありますし、地域の皆さん
の共通の願いでもあります。
しかし、今日の青少年を
めぐる状況は、もの豊か
さと情報の氾濫に加えて享
乐的な施設や有害なメデイ
アなどが至る所に存在し、
その成長を大きく妨げてい
ます。
その中であって、平岡地
域の子ども達の豊かな成長
を願い活動し始めたのが

「平岡ハートイ・マインド」
推進運動でした。その後、
十年の地道な活動を積み重
ねその実績が認められ、国
際協会・キワニスクラブに



結団式で挨拶する清田区長

よる教育賞を「平岡地区青
少年育成委員会」が受賞い
たしました。
そしてこの度、この十年
の経過を契機に新たな活動
の展開として、平岡「児童・
生徒事故防止合同対策協議
会」の構想を設け地域の平
岡高校、中学校二校、小学
校三校をそれぞれ訪問し、
平岡の子どもを守る「その
趣旨について話し合いをし
ました。その結果、各学校か
ら「児童・生徒のため、是
非立ち上げてほしい」との
要望がだされ、設立に大き
な励みとなりました。
かくして、念願でありま
した「児童・生徒事故防止
合同対策協議会」が平岡に
結成の運びとなりました。
七月二十一日夕刻の結団
式において、河村清田区長、
森林豊平警察署長の励まし
を戴き、地元からは連合会
役員、六校のPTA、清田
消防団平岡分団、町連から
防犯部・交通安全部・女性
部、さらに民生・児童委員、
青少年育成委員のみなさん
にもジャスコ中央駐車場に
結集して戴き協議会のスタ
ーに力強い応援を戴きまし
た。



結団式に華をそえた「舞童里夢」の舞

開会に先立ち、よさこい
踊りの「清田舞童里夢」の
メンバーが、凜冽と舞い結
団式に勢いを添えました。
協議会は当面の事業とし
て、「子ども一〇番の家」
の普及と「夏休み中の合同
パトロール」の実施を確認
し、巡回の開始日を七月二
十四日としました。
最近、人間関係のひ弱化
していく中で、子ども達は
心理的不安を抱き混乱と苦
悩を深めているようです。
学校においても、いじめ
や不登校に加え校内暴力も
増える傾向にあります。親
や大人が自らの姿勢を正し、
社会的規範の向上に努め、
家族とともに毎日の生活に
目標を持ち明るい家庭の中

美しい時代へ — 東急グループ



札幌
東急ストア

平岡店

営業時間あさ 10:00~よる10:00
土・日曜はあさ 9:00~よる10:00

札幌市清田区平岡7条2丁目2-1

TEL 881-4109

P450台

で、生きる力とゆとりをもてるように心がけると同時に、子ども自身も自らの力で強く生きることが願ってやみません。

平岡地区町内会連合会も、

平岡町連結10周年記念企画

『古老が語る 平岡のむかし話』

シリーズ③

意気高き 先人を継ぐ 畔原忠雄 清彦兄弟との対談に見る



むかしを語る畔原兄(左)弟(右)

開拓に従事した若き先人達の見た太陽は、物の豊富さが幸福、と錯覚して生きる現代人の見る太陽と同一である。然し、お天道様への価値観には雲泥の差があるろう、と推察する。

地域と一体になってこの事業の有効・発展を期し努力してまいります。今後とも、関係各位のご協力を宜しくお願いいたします。

壘に親を越す努力をする。また、何事にも向学心と進取に富む血筋は、やがて父唯治氏へと流れる。父は農業の傍ら、日本大学講義録で法律家をめざす学究肌の人であったという。



小豆の脱穀風景

大正15・6・6 午前午後通じ燕麦除草

畔原兄弟も忘れかけている遠い先代を知るために、忠雄氏が一冊の書物を差し出した。平成十一年発行、平岡農事実行組合創立六十年記念史「ひらおか」で組合長は忠雄氏である。表紙を開けると、昭和十五年撮影の坂の上共同作業所前に居並ぶ二十四名の、凛とした先駆者の雄姿に先ずは圧倒される。勿論父唯治氏も胸を張って大地に立つ。昭和二十年、代を譲り受けた父唯治氏は、若きより生活、世相を日誌に書き留めて、それが大切に保管されていて、時代考証的な抜粋文が記念史に掲載されている。興味深い一例を紹介。

四時頃より森田精米所まで大豆粕つぶしに行く。十九枚の代金七十六銭と黒砂糖一斤三十銭、計一円と六銭也支払う。

大正15・10・2

朝起きて実に驚いた。三、四十年来の洪水である。この村から札幌まで十幾つある橋で落橋しないのは、厚別橋と豊平橋のみの由。

大正15・10・30

朝来晴天！と突然実に突然！大鳴動南方の空に起った。スワ大爆発、壮麗な入道雲が躍々然と。樽前山の大噴火である…。

限りある紙面上、到底紹介しきれないが、平岡今昔物語そのものの、先駆者の実のある話文満載である。平岡を識る重要資料本であるこの発行に、改めて敬意を表し一読を奨めます。

昭和三十三年、代を引き継ぐ忠雄氏は、祖父、父の強い意志を扇の要として、営農に全力傾けて取り組みと共に、そのリーダーとして現在に至ります。今、日本の自給率低下が危惧されている中、特に食

糧危機への見解を問うと、忠雄氏は「輸入農作物はじめ問題山積ですが、農業規制ある国産作物は安全であり、良質な作物づくりにより農家は真剣に努力をしています。消費者が更に農業への関心をもって、食品選びの判断力など見識高めることが、やがては日本農業への応援となり、自給率向上に

平岡地区総合防災訓練を終えて

消防団が町民に協力

『自分たちの町は 自分たちで守る』

平岡地区町内会 防災部長 伊藤 誠



第四回を迎えました
平岡地区総合防災訓練

は、災害発生時に防災組織と住民が如何に協力しあい被災を少なくすることが出来るかを、具体的な場面や状況に合わせ技術や知識を高めるための学習や訓練が目的でした。そうした考えの普及もあってか各単位町内より二五〇名を越える町民がシヴアービングの森の広場に集い暑い夏空の下熱心に訓練を展開しました。

つながらずでしよう」と。平岡には現在七・八軒の営農者があり、風通しの良いその空間は、永遠に残して欲しい風景画でもある。今は昔、心血注いだ一畝の上に、大きく変貌続ける平岡がある。
(青山恭子記)

(※) 棧俵⇨米俵の上下にわらで編んだふた。

最初、どの地域にもある一時避難場所の「ぼだいじゅ公園」と「わかば公園」に避難しました。その後町連交通安全部、防災部、防犯部、平岡消防分団員の誘導に従い、メーン会場でありますシヴアービングの森の広場入口にセットされた煙道通過訓練の煙を潜り、煙の怖さを体験し開会式にのぞみました。
開会式を終え、あの真っ赤な色の消火器を使い「火事ダー」と叫んで油の火を消す初期の消火訓練です。



煙の中を通る訓練

続いて、バケツリレーの戦中さながらの消火訓練。火点を目がけて「エイーツ」水の塊が火点に命中、しぶきとなって散る勇ましい訓練でした。

清田消防団平岡分団による被災者の救助・運搬・救護・放水・小型ポンプ放水などの実技が行われ、そのきびきびした動作に参加者から安心と激励の惜しみない大きな拍手が起こりました。

後半、参加の子どもも大人も防火衣を着ての放水体験、三十数メートルのハシゴ車体験搭乗などに胸をドキドキさせました。

最後に、手近な毛布やジャンパーを使った応急担架の作り方や応急救護の心肺蘇

生法・止血法などについて専門家と参加者が一緒になって訓練できました。

更に、緊急時の「給食」「給水」の訓練には、町連女性部・日赤奉仕団の皆さんにより非常食と関係の品の提供もあり、訓練を側面から応援して戴きました。

最後に、このように多くのご参加をえまして第四回目成果を是非来年の第五回目へとつなげていきたいと考えています。

ご協力有り難うございました。

未組織町内会へお願い
自主防災組織の結成を!!

阪神・淡路大震災は、私たちに自然災害の恐ろしさを実感させました。しかし、その中にもあっても準備の行き届いた防災組織があれば、



消火器を使った初期消火訓練

日本最大級の銭湯誕生!

8月5日
オープン

湯のどく 南郷の湯

札幌市白石区南郷通14丁目
お問合せ (011)846-4126

- サウナ
- 電気風呂
- 泡風呂
- 小上がり五〇帖
- 岩露天風呂
- 檜露天風呂

■料金
大人 370円
小学生 140円
幼児 70円

■営業時間
14:00~24:00
[土日祝は10:00~24:00]
■年中無休

被害を少なくすることが出来ず。

『自分たちの町は自分たちで守る』ような自主防災組織の結成の必要を以前より各町内会へお願いしてまいりました。その結果、平岡24町内会のうち17町内会が結成済み、4町内会が準備中...という進行状況です。いろいろ困難な事情もありましようが自主防災組織づくりにご尽力ください。

◎結成済み町内会

- 平岡東町内会 会 長 山本 義雄
- 平岡しんたく自治会 会 長 水野 博
- 平岡小学校前町内会 会 長 松本 貞巳
- 南平岡町内会 会 長 大橋 良一
- 平岡春風台町内会 会 長 清平 栄光
- 平岡親和会町内会 会 長 石川 孝治
- 平岡団地自治会 会 長 新保 純
- 平岡親和会町内会 会 長 杉本 秀雄
- 平岡親和会町内会 会 長 石川 弘
- 平岡親和会町内会 会 長 土岐 政美
- 平岡町内会 会 長 畔原 隆
- 平岡町内会 会 長 木下日出男

平岡町連防災部 部長 大宮 幸夫

副部長 西 敏男

会 長 佐藤 昭典

平岡第一自治会 会 長 森 勝利

平岡第三町内会 会 長 林 忠昭

平岡第五町内会 会 長 山崎 和夫

平岡北町内会 会 長 太田 晃

平岡公園町内会 会 長 滝本 敏男

平岡小学校前町内会 会 長 藤瀬 昭雄

平岡雪割草町内会 会 長 関口 岩雄

平岡三條団地自治会 会 長 村田 悟

平岡三條団地自治会 会 長 山下 哲雄

平岡三條団地自治会 会 長 阿部 博光

平岡三條団地自治会 会 長 小澤 正人

平岡三條団地自治会 会 長 柿本 利夫

平岡三條団地自治会 会 長 梶田 信一

平岡三條団地自治会 会 長 井須 一夫

平岡三條団地自治会 会 長 滑川 信之

平岡三條団地自治会 会 長 片平 紀昭

平岡三條団地自治会 会 長 阿部 宏司

平岡三條団地自治会 会 長 阿部 宏司

平岡三條団地自治会 会 長 阿部 宏司

平岡三條団地自治会 会 長 阿部 宏司

平岡三條団地自治会 会 長 阿部 宏司

平岡三條団地自治会 会 長 阿部 宏司

平岡三條団地自治会 会 長 阿部 宏司

平岡三條団地自治会 会 長 阿部 宏司

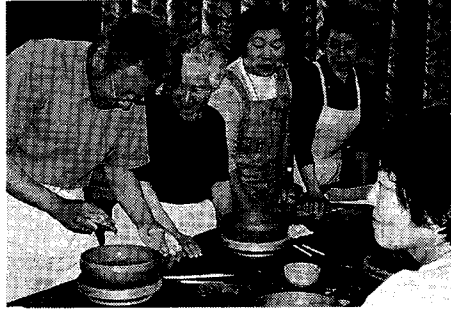
平岡三條団地自治会 会 長 阿部 宏司

平岡三條団地自治会 会 長 阿部 宏司

平岡三條団地自治会 会 長 阿部 宏司

平岡三條団地自治会 会 長 阿部 宏司

平岡三條団地自治会 会 長 阿部 宏司



講師の泉先生も真剣（左端）

時間を超えて

陶泉房 泉 豊吉

紫陽花がキレイな季節。少し前までは牡丹が美しかった。花だけではなく、山を歩く時それぞれの木々の特有の香りが好きだ。自然の美しさは、限らない癒しをあたえてくれる。そんなことを感じながら自分を自然の中に置くことが出来る幸せを見つめている。

平岡町連では、平岡地区福祉のまち推進センターを設置しております。その名を「ふれ愛梅の実広場」として、高齢社会を豊かに維持するための活動をしています。その活動の一つとして、昨年からは陶芸を始めました。自分の手で陶器を作るといふ、今までの出来なかつたことへの挑戦と作る喜びや出来上がったときの感動を味わうことで高齢者の方々には人気が高いようです。活動を続けたいという希望もあり、技術も向上してきております。

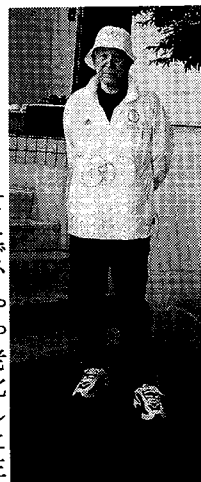
今年も平岡地区会館において高齢者の陶芸教室が行われました。出来上がった作品は、一つ一つにその人の個性がにじみ出て大変美しい物でした。紫陽花や牡丹と同じように、人や自然の作り出す美しさに驚きを感じます。



陶芸教室には、清田区の河村区長さんや町連の大橋会長さんも参加されてみんなを励ましてくださいました。この活動が、今後も心の慰めにだけでなく心や身体のためにも続けられたいです。

英会話の実習 通訳ボランティア

竹次 吉明



▼可能性に挑戦

今から四年前、毎日パークゴルフ三昧にひたっていた頃は、楽しいゲームが毎日できるしお金は掛からないし、何より健康的でもあります。これこそ『悠悠自適』の生活だと自己満足していました。

ところが、サッカーのワールドカップが日本で開かれることになり、しかも会場の一つに札幌が選ばれ札幌ドームで三試合が組まれることも決定しました。

これは「凄い」このために世界の各国からたくさん外国人が札幌へ来る。当然その人達のお世話や案内などが必要である。しかもその役の大半はボランティアで…という運営の意向を聞きました。

そこで、やや老化した生活のマンネリをもてあましぎみの私は、無謀にも今や世界の共通語ともいわれる英語で来訪者の『案内ボランティア』に挑戦してみようと思心しました。

四年前もあるのだから、英語を学び直して頑張れば…と単純に考えていた時に、清田老人福祉センターで『英会話教室』が開講され、そこで会話の学習に取り組みむと同時にラジオ、テレビの英語講座を視聴したり私流の英会話への取り組みが始まったのです。

三日坊主の私にとって、生まれて初めての四年前も長い挑戦といえます。

▼国際大会を生で体験
開催日も近づき、しかるべきボランティアの募集も始まりました。応募者は、所定の審査を受けます。英会話のテスト、各種の講習をも受けました。幸い念願の希望が叶えられ、アウエー側の観客案内のボランティア

アの拜命を受けたのです。実際には、サウジアラビア、エクワドル、イングランドの三チームの観客担当となり、本番を迎えることになりました。四年間の勉強が本場に役にたつのか、自分の英語がどの位通じるのか…などと思うと胸がドキドキしました。

本番の三日間を振り返ってみますと、あつという間の出来事でした。下手な英語でも、心を込め親切にご案内した結果、サンキユウと手を握られたり抱擁されたり努力と苦労が報いられたような気がしました。大会前には、フリーガンがどうの国民性の違いがどうのと過剰に神経質になった側



面もありましたが、世界的スポーツ大会ではその心配も無く、裸で接すれば人間は理解し合えるものだとつくづく感じました。

▼再びボランティアを考える
ボランティアは、人のため社会のため自分を犠牲にしてやるものだ、簡単に考えてきました。しかし、この度の挑戦を経て、もう一つ大事な意味がわかったような気がします。

「ボランティアは、人のためでは無い」自分をも育てる貴重な意味のあることが体験を通してわかったような気がします。

今、私は老人クラブの会長として、役員・会員の皆さんとともに、ボランティアをゆつくり楽しんでおります。

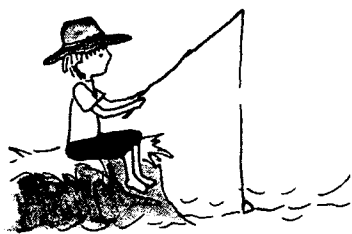
魚釣り人生

シュヴァーピング二番館
町内会長 片平 紀昭

魚釣りに港に着いた。早朝なのに港一杯の人で場所探しに苦労して準備する。隣の釣り人に、

「今日は如何ですか…」と声をかけると

「まあまあですなあ」と返事があって、バケツを覗くと獲物が二、三匹、これが典型的な釣り人の挨拶であって、その後暫く沈黙が続く。これからは腕のみせどころとなる。私の魚釣りの起源は、幼少の頃、小川で小魚をすくって他より多く獲れ気分を良くしたときから始まる。



以後、魚釣りを船で、磯で漁師に勝る漁獲を得て、多忙な中でも、ストレス解消に役立てて現在に至る。

昨今、魚釣りの形態も変わりスポーツとして楽しむ時代となり、竹竿からカーボン竿、電動リールへ。また、ルアー、フライと技法もそれぞれに研究されて驚くばかりの変わりようである。

その間、環境も魚の減少と環境にやさしい釣りのマ

わが人生の師 故 大山 正様に捧ぐ

平岡しんたく自治会 副会長 櫻田隆雄

我等が自治会館「おいで」が建設され満二年経過の今、感謝の意をこめて大恩人と不思議な縁を綴る。

遡ること凡そ三十年前、

機械メーカーの札幌支店長をされていたのが、前町連会長大山 正氏です。私はその代理店の一員として、商品の取り扱いをさせて頂いた事に端を発します。ある出張の車中「平岡に居を構えました」と伺い、北

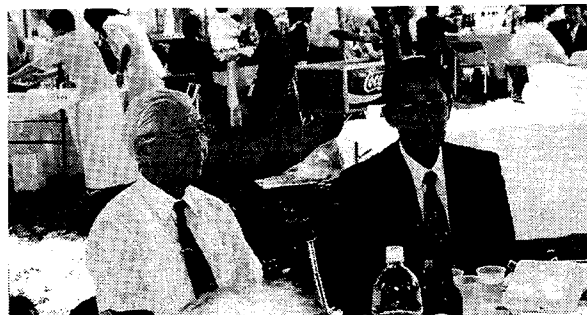
ナーが、要求される時代と

私は長い間、自然の環境の中で一本の竿に託してストレスの解消と明日へのパワーを蓄えながらの釣り人生に、今になって感謝しながら、尚愛し続けたい。

最近、ストレスの多い社会においてその解消のためには、自然に向き合った趣味が、最適と思われるのです。

広島にいた私は大変羨ましく聞いたものです。然し五年後、奇しくも平岡に家を建て、大山氏と同町連の住人となる私でした。

自治会十周年式典時の来賓者であった大山氏との歓談の中「自治会に会館が欲しい」と申し上げた記憶があります。あれや、これやの無理を承知で、仲間とは会館への夢を語り続けました。数年後の新年交礼会



ありし日の故大山会長(左)

の席上、大山氏より「会館の話は進んでいますか？」の問いに「土地も金も無しで前進できないでいます」と苦境を申し上げた所、図らずも市の補助金のこと、日本中央競馬会馬主協会の審査で受けられる補助金の可否等の教示を頂き、切望するものが見えてくる闇夜の提灯でした。白日夢が俄に現実味おび、勇気百倍の勢いで役員会に諮り企画書作成に汗しました。それを見た大山氏は、即行動を共にして馬主協会会長との面談、また桑園にある札幌競馬協会等へ数回同伴頂き、

正にわが事の如く真剣な取り組みで応援頂きました。平成十二年八月、会館竣工と自治会二十周年記念式典をどろんこ公園で挙行。

この日までの会員諸氏の理解、役員並に実行委員の東奔西走の活躍、今後の運営等思いめぐらす中、「櫻田君よくやった！」の大山氏の労いのことばに、いつ知らず両の手を恩人へ差し、感涙の一場面でした。

三十余年に渡るおつき合いに、この先は「恩返し的心」で生きようと考えてる。無常なるか、ほどなく届いた恩人の訃報に痛恨の日が流れるのです。

「平常心で事に当たり、和を以って尊し」と教わった思いです。夜のしじまに稿を上げ、感謝の念は深まるばかりです。

合掌



車のいたづら 連続発生!!

パークゴルフ駐車場

パークゴルフのシーズンも、そろそろ後半戦にさしかかり磨いた腕と勝負魂の見せ時がやってきました。ところが、その集中と熱中の隙を虎視眈々と目を光らせて「隙あらば……」と狙っている者がいるとしたら油断は禁物です。本当にあつた話です。

*アシリベツ川河川敷 駐車場の場合

●駐車中に、高額ゴルフクラブが盗難にあう。

*平岡公園パークゴルフ 駐車場の場合

●駐車中の車の鍵穴が 壊された。

『個人の注意もさることながら、相互に気をつけ合うことも必要ですね』とは平岡地区老人クラブ連絡協議会・役員会の席上で、関連報告されたものです。

ご注意を！ (W)

三里川堤防の草刈り

憩いの場 平岡公園を大切に

保健・衛生部長 菅野 岑 生

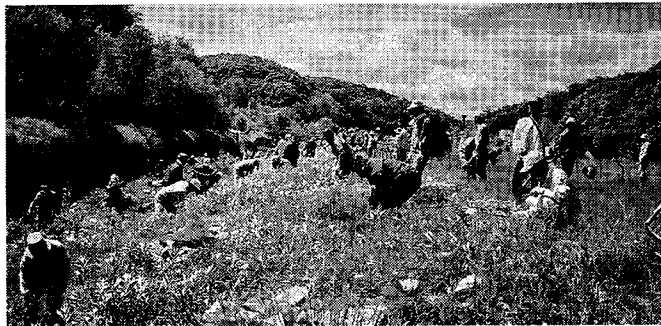


札幌市では、昭和五十七年より街の周辺に沿って豊かな自然を生かした緑地公園をつくる構想をたて、その構想の一つに平岡公園がはいっています。

平岡公園は、70・3ヘクタールの広大な緑地に遊戯広場、野球場、テニスコート、ゲートボールコート、芝生広場、噴水などの施設が完備され、他に梅林の南側には、木造では日本一長いアーチ橋があります。

また、五月には約三二〇本の梅の樹が一斉に花を開き、札幌市民はもとより近隣市町村からも大勢が花見に訪れます。

七月も中旬になりますと園内の水流部でヘイケホタルの淡い光を見ることもで



炎天下の作業のようす

きます。このようにホタルの棲息できる自然環境の保護を是非地域で守りたいものです。

公園内の里塚橋より里塚へ向かう林道の樹林地には心ない人のゴミの不法投棄がなされ自然が汚され、大変美観を損ねておりますし、

植物、昆虫、鳥類などの生態系にも影響があるのではないかと心配です。

平岡地区町内会連合会では、こうした地域の自然を大切にす意味で、毎年定期に三里川周辺の清掃と草刈りを行っています。今年第七回目の作業として、六月十七日午前十時より平岡地区二十四町内会から約百三十名の参加と刈払い機十七台をもってあたりました。

大橋町連会長より

「…恵まれた緑多い公園を、市民の憩いの場所としてきれいにしましょう。…」の挨拶があり、その後暑い日差しの中公園内のゴミ拾いと草刈りの作業に約一時間ほど汗を流し、三里川流域をきれいにしました。

この作業が、単に公園清掃という狭い意味での奉仕ではなく、緑化指定地域の拠点公園としてその評価に耐えうる整備のための仕事として大きな意義をもつものと考えています。

参加された皆さん方、大変ご苦労さまでした。ご協力に対し心より感謝申し上げます。

礼に始まり 礼に終わる

シュヴァーピング二番館前町内会長 芳永 武

古来から、わが国の国技である相撲は、礼に始まり礼に終わると言われております。

相撲は、呼び出しにより両力士が土俵に上がり、行司を挟んで互いに向き合い、礼から始まり、土俵上での熱戦を終えると、勝ち名乗りを受ける力士、負けて退場する力士も互いに向き合い、礼をして終えます。

ところが、最近の相撲を見てみると、特に、負けた力士が退場する前に、土俵に向かって一礼をするとき形式的に頭をさげているとしか見受けられないような態度が散見され、見苦しく思われてなりません。

これに対して、親方衆は勿論のこと、相撲協会もどのような指導をしているのか、疑問を感じられてなりません。

近年、年配者が若い人に対し、助言や注意することをためらうくらいが、多いのではないのでしょうか？都合の悪いことや嫌いな

ことは、何でも他人の所為にして、己を省みる気風がだんだんと失われつつあることは、誠に慚愧に耐えないところであります。

私たちの住んでいるマンションでは、三年前入居した当時、お互いが知らない者同士であったためか、敷地内で互いにすれ違う時、こちらから挨拶の声を掛けなくても、多くの人々は、恥ずかしのげに無言のまま過ぎ去っていく、挨拶を交わす人は稀でした。

そこで、このまま放置しておくことは出来ないと考え、一昨年夏から、子供たちを中心として実施したラジオ体操の場をとらえ、毎朝、体操を開始する前に全員で

「お早うございます」と、大きな声で挨拶をすることにしました。

ところが、これを契機に三、四歳の幼児までもが、かわいい声で「オハヨウ ゴザイマス」「コンニチワ」

「オバンデス」
と声を掛け合うようになり
これに連動し、今では多くの
大人達も挨拶を交わすよ
うになり、互いに親近感を
覚えるようになりました。
毎年、春秋二回実施され
ているマンション周辺の清
掃作業についても、大勢の
住民が挙って参加するよう

表彰のご紹介

になり、住み良い環境づく
りにつとめています。
礼儀を正しくすることは、
何も相撲や勝負の世界だけ
のものでなく、どこの社会
においても必要なことであ
り、子どものときから、正
しい習慣を身につけるよう
にしたいものだと思います。

◎北海道共同募金会長表彰

平成14年3月29日

◆平岡地区 共同募金功労者

石田義成様

永年にわたり、共同募金
運動に多大なご尽力をなさ
れた功績を讃え表彰を受け
たものです。

◎札幌市清田区

防火委員会会長表彰

平成14年4月17日

◆平岡地区防火委員

古川洋子様

永年にわたり、平岡地区
防火委員としての功労を讃
え表彰を受けたものです。

◎札幌市豊平防犯協会 連合会会長表彰

平成14年6月21日

◆平岡地区防犯協会委員

清平栄光様

平素から地域の安全諸活
動に対するご功労を讃え表
彰を受けたものです。

◎札幌市社会福祉 協議会表彰

平成14年7月3日

◆平岡地区

前民生委員・児童委員
黄倉正志様

永年にわたり、地域の社
会福祉活動に貢献なされた
ご功労を讃え表彰を受けた
ものです。

◎札幌市市長表彰

平成14年7月18日

◆緑の愛護委員

大橋良一様

永年にわたり、緑の愛護
委員としての著しい功績に
対し感謝の意を受けたもの
です。

◎札幌市社会福祉協議会 会長表彰

平成14年7月22日

◆平岡地区

民生委員・児童委員
大宮幸夫様

永年にわたり、地域の社
会福祉活動にご尽力なされ
た功績を讃え表彰を受けた
ものです。

《以上 執行順》



新任のご挨拶

平岡連絡所長 谷地田 明

「平岡？ウン、きれいな
街だよ、いいところだよ。」
という評判を聞いて4月に
着任して、早四カ月を越え
ようとしております。

着任当初から、右も左も
分からないまま過ごしてき
た感がありますが、大過な
く仕事が出来ましたのも地
域の皆様の応援があつての
ことと感謝しております。

「きれいな街」、「いいとこ
ろだよ」は、地域にお住ま
いの皆様のお力によるもの
だということを実感してい
る今日このごろです。

平岡の皆様が、日頃より
心ゆたかに安心して暮らせ
るまちづくりを目指して、
防犯・防災、交通安全、青
少年の健全育成、高齢者等
支援など各種の事業に積極
的に取り組んでおられるこ
とに敬意を表する次第であ
ります。

さて、札幌市では、この
変化の激しい時代にあつて、
これまで以上に市民と一体
となつたまちづくりが必要
と考えております。そのた

めには、連絡所は地域の皆
様とともに、今ある課題、
将来のまちづくりについて
より一層積極的に取り組ん
でいくことが求められてお
ります。

私といたしましても、連
絡員の井手、五十嵐ともど
も、地域の活動に対し、出
来るかぎりのお手伝いをし
たいと思っておりますので
よろしくご指導のほどお願
いたします。



川柳

平岡梅ヶ丘町内会 木村 勇一

孫むづき 誰の性かと になが笑い

定年後 職業問われりや 年金マン

老いくるも 趣味を生かせば 先開け

花一輪 帰郷でたむく 友の墓

老人も 地域に溶けて 期待され

短歌

平岡第五町内会 高野 スエ

二階より子の家族の睦み合ふ声聞こゆれば

心あたたかし

離れ住む息子の家を訪へば結婚一年の平安を見る

雪敲く日高山脈青深き空に陰翳鋭く立てり



あしりべつ郷土館

◇ご利用のご案内◇

●開館

火曜日から日曜日まで

(月曜休館)

(但し、年末年始、区民センターの閉館日は休館となります)

●開館時間

午前10時～午後4時

●入場料

無料

●お問い合わせ

清田区民センター内

あしりべつ郷土館

運営委員会

清田区清田一条二丁目

☎(011)885-0869



あ と が き

暑かった夏が終わろうとしています。はつらつ親子の「子育て」があり、少年達が夏の太陽に汗を光らせる。札幌にも見られる少年達の一生懸命な夏でした。

▼八月九日、文部科学省が昨年度の児童・生徒の欠席状況について報告しました。年間三十日以上欠席した児童・生徒は、小学校で七万七千二百十三名うち登校拒否数は二万六千五百三名で約三十四・三%にあたります。中学校の場合、欠席数十四万八千五百三十五名で拒否数は十一万二千九百九十三名で約七十五・五%になります。

この数値や割合は、いずれもこの十年間連続して前年を上回り、昨年はこの数値調査以来最高値を示したことになります。小・中学校合わせて、約十三万九千名の児童・生徒が友達を失ったり、教師に心を閉ざしたり、親との間にも言葉をなくし自分の明日を見失ったのです。

▼最近の警視庁の発表によると今年上半期(一月～六月)の全刑法犯罪件数の約40%が十四才以上二十才未満の少年層であり、件数で六万五千五百七十三件の逮捕や書類送検数です。

少年時代が、その生い立つ過程で最もみずみずしい感性豊かな時期でありながら、自分を見失い奮い立つ勇気をも失った姿です。

平岡地区にも、子どももしっかりとした成長を願ういくつもの組織活動があります。「子育て」の苦勞も楽しさも、どんどん広がって「育てる」ことの意味の広さや深さをみんな考えて合いたいものです。子どもの世界が広がるからです。

もう一方に、青少年の問題や事故などの多い昨今ですが、事故を未然に防ぐことが出来たら…そんな願いを掲げこの七月に児童・生徒事故防止合同対策協議会が発足し、その地道な施策が期待されています。

いずれも、地域がその歴史に記す新たな地域づくりへの挑戦として心を強くしております。

《渡邊》